

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡下さい。



茨城支部道場の皆さん



(総務部長) 稲垣繁實さんより

合気道は植芝盛平翁(1883～1969)の創始による精神性の強い武道です。精神的荒廃の進む現代社会の立て直しには最も適した武道といっても過言ではありません。

開祖植芝盛平翁は、昭和17年に東京牛込から旧岩間町に移り住み、武農一如の生活を通し現代合気道を完成させました。笠間市吉岡には、昭和18年に建設された世界に一つしかない合気神社があり、昭和20年に完成した道場があります。今では世界各国から修行者が絶えず訪れており、合気道の聖地とされています。

茨城支部道場では中学生から74歳の方まで、男女の区別なく、楽しく稽古をしています。

《問合せ》
稲垣繁實 0299(45)2085

～中学校授業での 武道必修化を控えて～

合気会では文部科学省と共催で、学校合気道実技指導者講習会を平成18年度から毎年行っています。中学校の保健体育における武道の必修化を来年度に控え、笠間市でも多くの教員が受講しました。すでに授業に取り入れている笠間市立稲田中学校では、平成22年度の3学期に1年生45名が合気道の授業を10時間行いました。生徒への学習の指示は普段の授業を指導している保健体育科教員が行い、外部指導者として茨城支部道場が協力し、技術面、礼法や合気道に取り組む心構えを指導しました。

今後、全国各地の現場で合気道を指導できる教員が増えれば、より多くの学校で合気道の授業化が促進されるのではないかと期待しています。

(財)合気会 茨城支部道場

代表者 うえしば もりてる 植芝 守央
設立 昭和20年
役員 285名
(平成23年12月現在)



和合の精神を尊びながら
道を究める修行



稽古の様子



市民憲章全国大会笠間大会での演武



岩間合気道スポーツ少年団の演武